

# 目 次



1. はじめに .....	1
2. 現在の氾濫原管理とは	
2-1 持続可能な氾濫原の利用 .....	3
2-2 本報告書が対象とする施策 .....	3
3. 施策の背景	
3-1 水害の現状 .....	5
3-2 氾濫原管理に関係する機関 .....	5
3-3 アメリカの施策の特徴 .....	6
4. 氾濫原管理の沿革	
4-1 氾濫原管理の導入 .....	9
4-2 現在の氾濫原管理へ（2つの提言）.....	11
5. 洪水保険制度	
5-1 洪水保険制度の概要 .....	13
(1)洪水保険とは.....	13
(2)洪水保険プログラムの概要 .....	14
(3)保険料率と填補額 .....	15
(4)運用状況 .....	16
5-2 洪水保険と土地利用規制 .....	20
(1)洪水保険と連動した氾濫原管理 .....	20
(2)近年の制度改良 .....	21
(3)自治体格付けシステム .....	23
5-3 現在の問題点 .....	25
6. 近年の新たな動き バイアウト	
6-1 バイアウトとは	
(1)施策導入の背景 .....	27
(2)バイアウトプログラムの開始 .....	28
(3)陸軍工兵隊の動き .....	29
(4)建物の耐水化技術 .....	30
6-2 被害軽減事業への補助制度 .....	32
(1)被害軽減事業補助プログラム .....	32
(2)その他の補助制度 .....	32
6-3 バイアウト事業の妥当性 .....	33

7. 洪水リスク評価と洪水地図	
7-1 アメリカにおける洪水地図	35
7-2 洪水保険料率地図	37
(1) 洪水保険料率地図とは	37
(2) 地図の表示項目とリスク区分	37
(3) 地図の作成手順	39
(4) 地図の修正手続き	41
7-3 地図作成マニュアル	41
(1) 解析モデルの規定	41
(2) 洪水保険料率地図の作成マニュアル	43
(3) 堤防の評価について	48
7-4 将来に向けて	49
(1) 洪水地図に関連する技術革新	49
(2) FEMAによるプロジェクト	50
(3) リアルタイム洪水地図	52
(4) 洪水地図の作成事例	54
8. おわりに	58
付録1 Galloway報告の概要(訳)	60
付録2 非構造格子モデルによる氾濫解析	69
参考文献	87